

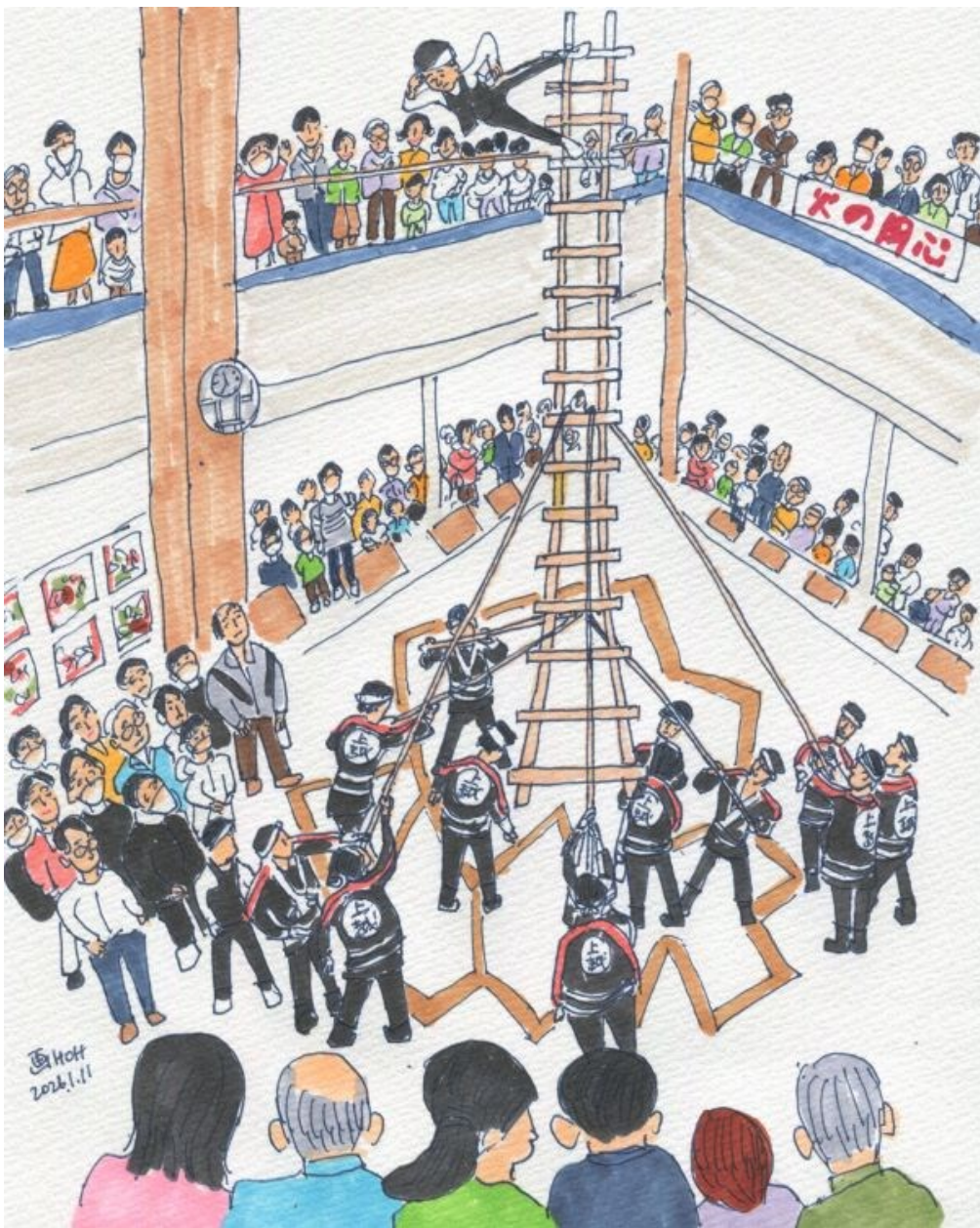
消防出初式に400人

上越市消防出初式は11日、リージョンプラザにおいて団員など約400人が参加し行われました。

式典では、小菅市長や笹原団長から火災などの災害対策で力を尽くす決意が示されるとともに、これまで頑張ってきた団員などが市長や団長から表彰されました。

感謝状は小川前団長など12人に、功績章は柿崎方面隊の酒井範充さんなど107人に、勤続章は吉川方面隊の安澤弘さんなど125人に授けられました。昨年、女性消防団として全国大会でも活躍した女性消防部の和栗澄子さんや佐藤未樹さんも表彰されました。おめでとうございます。

イラストは酒井範充さんと安澤弘さんです。



左のイラストは板倉方面隊による「はしごのぼり」



【ヒメオドリコソウ】
(再掲) シソ科の越年草。漢字で「姫踊り子草」と書きます。春一番に咲く野の花の1つですが、気象条件によっては12月にも咲くことがあります。昨年12月に雪が降って、その後雪が溶けて咲いたようです。踊り子のような花の形がかわいいです。花言葉は「快活」「陽気」「愛嬌」「春の幸せ」など。12月19日、吉川区大乘寺で撮影しました。

新年度予算編成などで市長に要望

日本共産党上越地区委員会と日本共産党上越市議会議員団は9日、2026年度予算編成などで小菅市長に要望書を提出しました。

要望書は、市民の安全を確実に守るための取組、市民の命と健康を守る取組など4つの大きな柱で48項目となりました。私から、「市民から寄せられた要望を基にまとめたもの。全部とはいかないだろうが積極的に取り上げていた



「要望書の全文は私のホームページに掲載しました。要望書提出後の懇談の中では、「市民や商工業者の経営も大変厳しい状況が続いている。経営支援として出された融資の返済もままならない人々たちもいる。ぜひ支援を」

「農林業センサス調査で基幹的農業従事者がこの5年間激減している。このままでは上越市の農業は持たない。新年度予算で担い手づくりに思い切った予算措置をしてほしい」と訴えました。

懇談の最後、議員団の3人が作成している議会報告ビラも市長に渡しました。

市長は私の活動レポートのイラストを見て、「私も描いてもらいましたね」と応じました。それで、「小菅市長は〇〇さんよりも描きやすいです」と私が言ったら、その場にいた市役所幹部やマスコミ関係者も大笑いでした。

はしづめ法一の
活動レポート

No.2235 2026.1.18

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず

Tel 025-548-3627

通じないときは 090-5392-1961

E-mail hasiznys_0808@yahoo.co.jp

URL <https://www.hose1.jp/>



ブログ
「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一

検索

春よ来い

第八八二回 指紋が消えた

四か月ぶりに中山間地に住むフミエさんの家を訪ねました。それも二日続けて訪ねることになりました。

前回訪問したとき、すでに九〇代の後半になられたことを知り、「これは半年に一度くらいは訪ねなきゃ」と思っていました。訪ねた一日目は夕方ではありませんでしたが、家の前で迷わず車を止めました。

いつものように、フミエさんは私の顔を見ると、「さあさ、入ってくんない」と声をかけてくださいました。その言葉に甘えて茶の間に上がらせてもらって、フミエさんの顔がとてすっきりしています。

「いい顔してなんね。艶もあるし……」と言つと、本人も健康状態が良いことを自覚しておられるようで、「ちょっと死なんね」と言つてニコニコ顔になりました。

フミエさんは、「お茶、出さんで悪いね。そのかわり、ミカンでも食べてくんない」と言われました。コタツのテーブルの上に出されたミカンをいただきます。前日、フミエさんが行ったという床屋さんの話を聞いて納得しました。いつも以上に髪がきちんとしていたので、すっきりしたい顔になっていたんですね。デイサービスと一緒にキョコさんとの楽しいおしゃべりのことも聞きました。

この日の訪問では、フミエさんから私の最新エッセイ集『母ありてこそ』の注文がありました。それで、翌日にもう一度フミエさん宅へ行くことになりました。

翌日の二回目の訪問は午後二時過ぎになりました。この日は強い風が吹き、小正月の行事があちこちで延期になりました。私に参加することになっていたところも同じです。それで、時間の余裕ができました。

この日も茶の間に上がらせてもらい、お茶をご馳走になりました。フミエさんは「ジャガイモ、美味しいねかね。カレイとジャガイモの煮たもんがあるけど、食べな

んねかね」と私に問いました。「ほしや、もらおうかな」と答えたら、すぐに冷蔵庫からラップに包まれた煮物を出し、電子レンジで温めてくださいました。ご馳走になったジャガイモとカレイの煮物は双方の味がしみ込んでいて、とても美味しかったです。

一日目、二日目とフミエさんの姿を見ていて感心したのは、九六歳という高齢でありながら、身の回りのこと食事のことなどで、じつによく考え、行動しておられることです。最近、体のあちこちに不具合が出ている私には信じられませんでした。

高齢になると、立ったりねまったりがとも負担になります。そして家事から遠ざかる人も少なくありません。でもフミエさんは、漬物こそ作れなくなっていますが、掃除も料理もまだ現役です。

驚いたのはフミエさんの両手の指先です。「指の指紋、消えちゃって」と言われたので、まさかと思って、指を見せてもらい、触らせてもらいました。水仕事などの影響でしようか、指紋はほとんどわからなくなっていて、指先がツルツルになっていました。そのため、茶碗を持つにも指全体ではさむようにしておられました。こういう指先は初めて見ました。

ジャガイモとカレイの煮物をいただく中で、買い物についても工夫されていることを知りました。町の中心部には食料品を扱っているお店がなくなつたので、保存のきくものはまとめ買いし、冷蔵庫に入れてあるということでした。フミエさんは、「一人暮らしだから冷蔵庫は小さくてよいと思つたら、そうじゃなかった」と言つて苦笑いされていました。

フミエさんの誕生日は五月五日だのとのことです。私が「ゴーゴーだね」と言つと、まだ笑っておられました。この調子なら百の太台は軽く超えられることでしょう。

大島区の最南の地、菖蒲でサイの神

10日の午後、大島区の最南端にある菖蒲東でのサイの神行事に参加してきました。

冬晴れの青い空の下、若い人たちが中心になって作った稲わらの

山は点火後、一気に（7分ほど）燃え落ち、今年の豊作を暗示しているようでした。

点火する前に参加者から集ってもらい、集合写真を撮りました。全員で20人ほどでしたが、みなさん元気でしたね。そば打ち名人さん夫婦、生産組合メンバーなど顔見知りの方がほとんどでした。集合写真の一部を使ってイラストを描きました。



上越地域各消防署における 空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	1月7日(水)	1月14日(水)
上越消防署	0.050	0.050
上越南消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.047	0.057
頸南消防署	0.067	0.067
東頸消防署	0.057	0.047
名立分遣所	0.060	0.060
高士分遣所	0.047	0.050